

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和5年度		
施設名	秋田県児童会館	設置年	昭和 55 年
所在地	秋田市山王中島町1番2号		
指定管理者	特定非営利活動法人あきた子どもネット		
県所管課	次世代・女性活躍支援課	子育て支援チーム	

1 施設の概要

設置目的	児童に健全な遊びを提供してその健康を増進し、及び情操を豊かにするとともに、自然と文化に関する児童の認識を深めてその豊かな人間性と創造性を育む。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標 「第3期すこやかあきた夢っ子プラン」において、乳幼児から高校生までの子どもを対象とした健全な遊びや活動の拠点として位置付けられている。					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として施設に求められているもの					
	上記の位置付けに加え、さらには児童の居場所となるよう機能の充実を図ることとしている。					
施設の面積	敷地面積4,373.54㎡、建築面積3,145㎡、延床面積5,672.7㎡					
主な設置施設	レクリエーションホール、子ども劇場、プラネタリウム、木育ルーム、図書室など					
指定管理業務の内容	料金制	有（利用料金併用制）				
	料金設定	別紙による。				
	サウンディング実施対象施設※	×				
	指定期間	R5.4.1		～ R10.3.31		
	営業期間・時間	1月4日～12月28日 午前9時～午後5時（月曜日定休）				
		一 使用の許可、使用の許可の取消し並びに使用の制限及び停止に関する業務 二 施設及び設備の維持管理に関する業務 三 児童の健全な遊びの提供に関する業務 四 自然と文化に関する教育活動に関する業務 五 全県の児童館のセンターとしての業務				
自主事業の内容	毎週および季節の工作事業、助産師による育児相談、絵本読み聞かせ、季節の行事、グランドピアノコンサート、遊び歌コンサートなどの開催。HP・Facebook・Instagramによる情報発信等					
直近3年の年間利用者数	R3	58,900人	R4	79,267人	R5	108,633人
直近3年の年間利用収入	R3	8,563千円	R4	8,882千円	R5	11,893千円
直近5年の収支決算(単位:千円)		R元	R2	R3	R4	R5
収入計		69,796	68,166	69,962	71,493	75,395
利用料金収入		10,289	6,130	8,563	8,882	11,893
指定管理料		58,696	59,531	59,465	59,742	61,922
その他収入		811	2,505	1,934	2,869	1,580
支出計		69,599	64,980	69,608	71,695	74,198
人件費		34,582	34,273	34,312	34,508	35,895
光熱水費		11,371	9,431	12,855	16,445	15,927
修繕費		4,287	4,744	5,279	2,622	2,582
外部委託費		9,671	9,738	9,738	9,808	9,696
その他経費		9,688	6,794	7,424	8,312	10,098
差引		197	3,186	354	▲202	1,197

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

<観点 I> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

令和5年度 の目標	利用者数 80,000人
--------------	--------------

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	実績	108,633	達成率	135.7%	
	具体的な 取組と その効果	新型コロナウイルスの5類移行に合わせ、閉鎖・停止していた企画事業等を復活させた。各種イベントや軽飲食等の再開し新しい企画事業等を展開したことにより、参加者が伸びをみせた。また他施設の閉館等により、劇場の利用者も併せて伸びを見せ、想定より大幅な来館者増につながった。			
直近3年 の実績	年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標	120,000	60,000	60,000	
	実績	47,670	58,900	79,267	
	達成率	39.7%	98.2%	132.1%	
令和6年度 の目標 (設定根拠)	目標	利用者数 100,000人			
	設定根拠	令和6年度は、育児サークルでの保護者同士の交流事業や参加人数を緩和した各種事業を行っていく。遊具の増加やプラネタリウムの一当たりの入場者数を増やすなど来館者の増加を図ることとし、中高生の居場所づくりも含め、今年度は10万人の利用目標を設定した。			

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

<観点 I> の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	令和5年度の目標を達成した。定期的に工作、カプラやキッズジム、歌や踊り体操などの、心と体の健全育成に努めた。また自主事業や協働事業、ボランティア団体による事業なども展開を増やし「ここに来たら何かやってる楽しみ」が持てる館の運営を行った。
	県 (所管課)	A	児童に健全な遊びや新しい企画の実施、劇場利用の増加など利用者目標の135.7%を達成している点が評価される。

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。
また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

＜観点Ⅱ＞ 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和5年度 の実績	実績	96.2		
	具体的な取組とその効果	コロナ後の来館者の要望に応えた。 ・季節イベントの量的緩和 ・木育ルームを清潔に保つ対策を行い、また木育遊具の追加補修やメンテナンスで危険性の排除に努め生後間もない乳幼児を抱えた両親も安心して遊べるよう取り組みを行った。 ・軽食等の飲食再開を行った。		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R2年度	R3年度	R4年度	
	91.0%	87.4%	96.5	

＜観点Ⅱ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	利用者アンケートの意見には可能な限り対応している。令和5年度は感染対策を講じながら、量的緩和を行い、飲食制限も解除し来館者の要望に応えた。要望の多い木育コーナーの充実にも力を入れたため、昨年と同様の満足度を頂くことが出来た。今年度は新たに導入したスポットエアコンの実地動作を行うため、来館者からも広く反応を伺う。
県 (所管課)	A	利用者の意見にきめ細かく対応していることから満足度は高水準を維持しており、劇場の暑さ対策にも適宜対応しているところが評価される。	

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A:満足度80%以上 B:A及びC以外 C:満足度60%未満

＜観点Ⅲ＞ 効率性の向上等に関する取組

(1)経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	経費の低減実績	劇場の使用料の増加などにより、総額では経費は前年比で3%程度増加し来館利用者1人当たりで換算すると前年比で24%減少している。
	具体的な取組とその効果	令和5年度は原油価格等が高騰し負担が増している状況においても需用費(小破修繕)の削減に取り組んだ。施設老朽化と燃料費光熱費の高騰の影響で経費総額は増加したが、再開した事業等もあり来館者が増えたため、利用者1人当たりの経費は減少している。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2)収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	収入の増加実績	利用料金収入が前年度比で29%増加した。
	具体的な取組とその効果	利用料金収入は劇場使用料によるもの。もともと一般料金より低額である児童料金を設定していることに加え、他施設の閉鎖等により、劇場稼働率が前年度比で4.7%増加。児童料金以外の利用者も増えたため、それに伴い利用料金収入も増加した。

<観点Ⅲ>の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	経費の低減については、需用費（小破修繕）の削減に取り組み、利用者1人当たりでは20%以上改善している。収入については、劇場の利用者の増加により前年比で改善している。
	県（所管課）	B	経費の低減については、総額では前年比で増加したものの、利用者1人当たりでは改善している。収入については、劇場の利用料が増加し、前年比で5%以上改善しており、B評価とする。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B: A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

<観点Ⅳ> 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	<p>○人員配置 施設の管理運営に必要な人員を配置しており、サービス提供に支障は生じていないが、教育し今後を担う人員を補充が予算の都合上できない為改善を要望する。</p> <p>○職員の資質向上 定期的に防災研修を行ったり、来館者対応の共有をするとともに、希望者は子育て支援員研修を受けている。また自主事業にも意欲的に取り組み、来館者増加につながっている。</p> <p>○地域や関係団体等との連携 地域の読み聞かせグループや民謡団体、秋田大学の奇術研究会等へのイベント依頼や、企業にも呼びかけ整体院の子ども姿勢チェックや 映像制作会社と企画を行うなど、地域で活動している団体やボランティア企業と連携を図っている。</p> <p>○安全対策 施設の点検結果から、おもちゃやタイルの隙間を埋めるなどの修繕を行い、利用者が安心して利用できる状態を保っている。また、木育及びレクホールの木部の修繕、また施設及び劇場の雨漏り等の対策を行いつつ、各所の危険箇所等を確認し、必要な修繕を適切に行っている。しかし、施設の老朽化により危険箇所が増えているため、抜本的な対策を協議する必要がある。</p> <p>○危機管理等 事故防止マニュアル等及び緊急時連絡体制を整備しているほか、令和5年度から職員に防災管理者講習を受講させている。</p>
--------------	---

<観点Ⅳ>の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	実績報告に記載のとおり、施設の管理運営等、指定管理業務は適正に行っている。
	県（所管課）	A	モニタリングの結果においても適切な管理運営を行っていることから、A評価とした。

【評価基準】 A: 順調(改善点なし)、B: 概ね順調(重大な問題点なし)、C: 改善が必要(重大な問題点あり)

県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

児童の安全に配慮しながら健全な遊びを提供し、児童の健康の増進等に寄与しているほか、共働き世帯が増えたことにより、放課後の児童の「子どもの居場所」として活用されている。

○施設運営の課題

- ・施設の老朽化

○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)

- ・引き続き児童の健全な育成へ向け、様々な遊びの提供や人間性、創造性を育む機会を提供する。
- ・利用者が常に安全に利用できるよう、計画的な施設の修繕を行う。